

《平成27年度 建設部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長 北中 建道

**重**

…平成27年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み」欄に左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p>・主要幹線道路における交通量の増加等により慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量が増加傾向であることから、主要幹線道路の整備と、安全で快適な道路空間の整備が求められています。</p> <p>1 道路施設の老朽化や大規模な災害の発生の可能性を踏まえた道路の適正な管理を行うため、平成25年度に「道路法等の一部を改正する法律」が施行されたことにより、橋梁や舗装、道路附属物の点検・調査が義務化され、最小限の維持管理コストで道路の安全・安心な通行の確保を目的とした修繕事業の取り組みが必要となっています。</p>	<p>・主要幹線道路として整備を進めている大江霊仙寺線南笠工区その1の整備を計画的に進め、平成32年度の整備完了を目指します。</p> <p>① 市民生活に必要な道路の適切な維持管理を行うため、「事後保全」から「予防保全」や維持管理コストの平準化等への方向転換に取り組み、道路の安全・安心な通行を確保するための点検・設計・工事を進めます。</p>	<p>【取り組み】 大江霊仙寺線南笠工区その1の整備を進めます。 (事業費 5,000千円)</p> <p>①</p> <p>【成果目標】 大江霊仙寺線南笠工区その1の事業認可を取得します。</p> <p>【取り組み】 市道長寿命化事業を進めます。(事業費 151,153千円)</p> <p>②</p> <p>【成果目標】 次の各事業を実施します。 ・橋梁長寿命化事業 工事2橋、設計1橋 ・舗装修繕事業 工事870m、設計980m ・道路附属物修繕事業 実施設計</p>	<p>【取り組み実績】 大江霊仙寺線南笠工区その1事業の認可手続きを行いました。</p> <p>①</p> <p>【成果目標実績】 事業認可の手続きを行いました。 (平成28年当初に認可予定)</p> <p>【取り組み実績】 市道長寿命化事業を実施しました。</p> <p>②</p> <p>【成果目標実績】 次の各事業を実施しました。 ・橋梁長寿命化事業 工事2橋 ・舗装修繕事業 工事998m、設計960m ・道路附属物修繕事業 実施設計</p>
<p>・近年、市街地での宅地開発等による雨水排水量の増加、また局地的な集中豪雨の頻発や大型の台風の接近により水害の発生が懸念されており、市民の水害への防災意識が高くなっています。</p> <p>2 雨水幹線整備の進捗を図ることで、洪水や内水氾濫などが予想される区域での排水能力の向上に繋がり、浸水被害が低減されます。</p>	<p>・市内の雨水幹線整備を計画的に進めます。</p> <p>② 特に、矢橋町地先に計画されている(仮称)老上第二小学校が平成28年4月に開校することから隣接敷地に整備する矢橋2-1号雨水幹線整備を早急に進めます。</p>	<p>【取り組み】 雨水幹線の整備を進めます。(事業費 296,500千円)</p> <p>③</p> <p>【成果目標】 雨水幹線整備率の向上 19.8% →19.9%</p>	<p>【取り組み実績】 雨水幹線の整備を実施しました。</p> <p>③</p> <p>【成果目標実績】 雨水幹線整備率の向上 19.8% →19.9%</p>
<p>・市民の憩いと安らぎが感じられるよう、緑地・オープンスペースの確保、整備が求められています。</p> <p>3 老朽化が進む市内の都市公園において、安全性の確保と機能保全を図りつつ、維持管理コストの削減を図るため、公園施設の維持管理や長寿命化対策を計画的に進める必要があります。</p>	<p>・緑の基本計画に基づき市民1人あたりの都市公園面積を7㎡にするため、野路公園および野村公園の整備を進めます。</p> <p>③ 野村公園の整備については、中心市街地におけるにぎわい拠点の整備に向け、市民スポーツの拠点である野村市民体育館をスポーツのほかにも各種イベントが実施可能な体育館として建て替えるための設計業務を行います。</p> <p>・公園施設長寿命化計画に従い、効率的、効果的な施設の改修または更新を行います。</p>	<p>【取り組み】 野路公園および野村公園の整備を行います。 (事業費) 野路公園整備費 実施設計業務 15,000千円 用地取得 54,700千円</p> <p>野村公園整備費 ・体育館建設基本設計業務 13,546千円(※H26年度予算明許繰越)</p> <p>④ 体育館建設実施設計業務 25,858千円 ・地形測量業務 7,860千円 ・諸事項検討業務 4,920千円 ・調整池詳細設計 7,557千円 ・文化財収蔵庫解体設計 421千円</p> <p>【成果目標】 ・野路公園の実施設計および用地取得に着手します。 ・野村公園体育館等の実施設計に着手するとともに、野村スポーツゾーン全体の測量を実施します。</p> <p>【取り組み】 都市公園内の施設の長寿命化事業を進めます。 (事業費) ・ロクハ公園改修費 20,958千円 ・弾正公園改修費 12,800千円 ・みずの森改修費 3,511千円 ・児童公園等改修費 33,522千円</p> <p>⑤</p> <p>【成果目標】 都市公園および児童遊園の修繕・再整備を実施します。</p>	<p><b>重</b></p> <p>【取り組み実績】 ○野路公園整備事業 野路公園実施設計業務を実施しました。 ○野村公園整備事業 体育館建築基本設計および地形測量業務を実施しました。 体育館建設実施設計業務、諸事項検討業務、調整池詳細設計、文化財収蔵庫解体設計については、平成28年度に繰越しました。</p> <p>④</p> <p>【成果目標実績】 ○野路公園整備事業：平成28年1月22日付けで事業認可を取得し、1工区地権者に事業の具体的内容の説明を行い、平成28年度当初に一部の用地取得ができる目途ができました。 ○野村公園整備事業：新体育館の基本設計業務に時間を要したため、実施設計および関連する業務は平成28年度に繰越しを行い継続して実施します。</p> <p>【取り組み実績】 次の各事業を実施しました。 ・ロクハ公園健康遊具更新 7,538千円 ・みずの森太鼓橋高欄改修詳細設計 3,240千円 ・みずの森鑑賞池他ろ材取替修繕 453千円 ・大將軍公園他遊具更新 11,229千円</p> <p>⑤</p> <p>【成果目標実績】 ロクハ公園の健康遊具の他、児童公園4箇所の遊具更新を実施しました。</p>
<p>・住宅地区改良事業等の一環として、昭和40年代から昭和60年代にかけて建設された改良住宅は、耐用年数の4分の1(11年3か月)が経過すると、入居者等に譲渡が可能となりますが、これまでのところ、本市においては譲渡の実績がありません(滋賀県内では、すでに譲渡を進めている市町があります。)</p> <p>4 平成26年度に譲渡手法等の課題を市内部の方向性として整理しました。</p>	<p>④ 改良住宅の譲渡に向けて基本方針の策定を進めます。</p>	<p>【取り組み】 外部の有識者等で構成する附属機関を設け、改良住宅の譲渡を進めます。(事業費 1,919千円)</p> <p>⑥</p> <p>【成果目標】 当該審議会の答申を受け、譲渡の基本方針の策定を進めます。</p>	<p>【取り組み実績】 市の基本方針(案)について入居者説明会を行うとともに、入居者と地域代表等による検討委員会を設置しました。</p> <p>⑥</p> <p>【成果目標実績】 外部の有識者等による審議会の設置に向け、市の基本方針(案)について入居者との合意形成を図るなど、譲渡の基本方針の策定に向けた取り組みを進めました。</p>